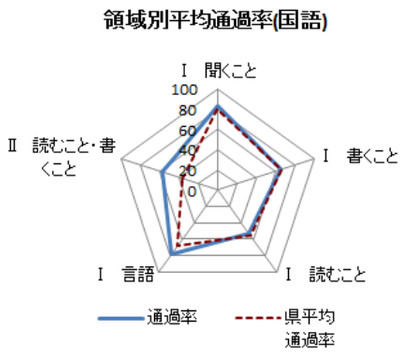
指導方法等の改善計画について　〔 国 語 〕

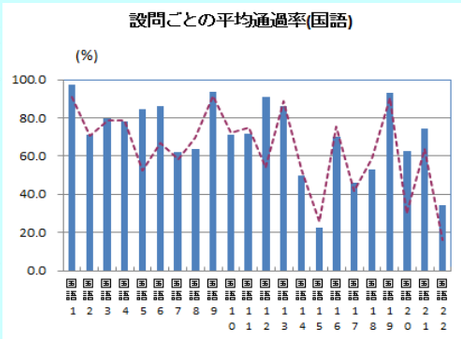
呉市立白岳小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校70．1%，県63．7%）

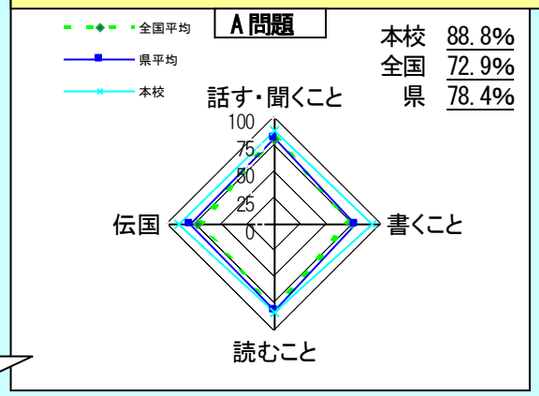
領域別平均通過率



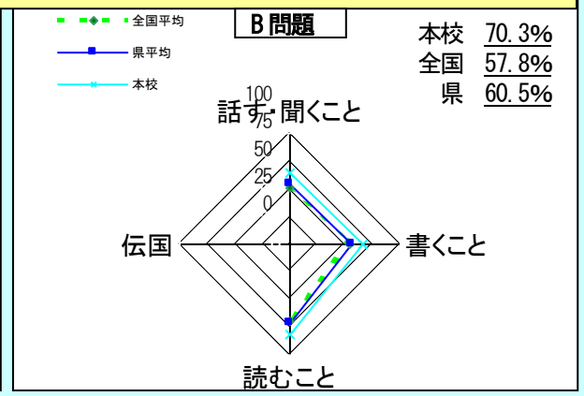
設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率



本校	88．8%
全国	72．9%
県	78．4%



本校	70．3%
全国	57．8%
県	60．5%

重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎　タイプⅠ「読むこと」の問題において，中心となる語や文を捉えて，文章を正しく読むことができない。（通過率 22.4%）

◇①　資料や文章を正しく読み取る問題（複数）に課題がある。資料や文章の一部を読んで判断している児童がいる。（通過率　55~70%）

②　条件に合わせて書く問題（複数）に課題がある。条件に合わない書き方をしている児童がいる。（通過率　55~70%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎　国語科の授業では，「目的に応じて段落相互の関係や中心となる語や文を捉える必然性のある『単元全体の課題となる言語活動』」を設定し，丁寧に指導するとともに，活用の場面を設定する。また，帯タイムなどを中心に接続語の役割に着目させる学習プリントに取り組ませ，考え方を具体的に指導する。

◇①　資料や文章の全体を読んで内容を正しく読み取るように，指導を強化する。

②　条件に合わせて書く活動を，国語科だけでなく，他教科においても取り入れ，条件を意識して書くことになれさせる。また，書いた文章を読み返し，推敲する習慣を付ける。

※　小中一貫した取組については，説明的文章の解釈において，各学年における重点的な指導内容をしっかり教え，身に付けた知識・技能を活用して考えさせたり表現したりする授業を充実させるとともに，条件に合わせて書く活動に重点を置く。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	5年「資料を生かして考えたことを書こう」単元テスト		１～６年生説明文の単元テスト		１～６年生学力テスト	４年生 Ｈ２８基礎基本	１～６年生学年末テスト
目標値	８０％		８０％		８０％	７０％	８０％
実施後数値							

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法				１～６年生学期末テスト	１～６年生学力テスト	５年生 Ｈ２８全国学力 A問題	１～６年生学年末テスト
目標値				８０％	８０％	７０％	８０％
実施後数値							

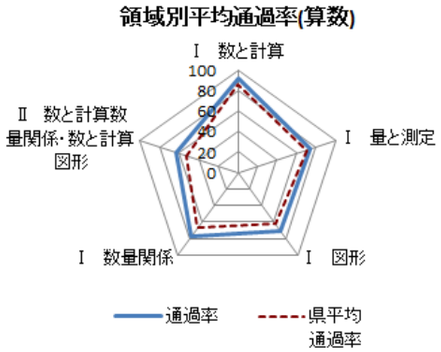
来年度に向けて

指導方法等の改善計画について　〔 算 数 〕

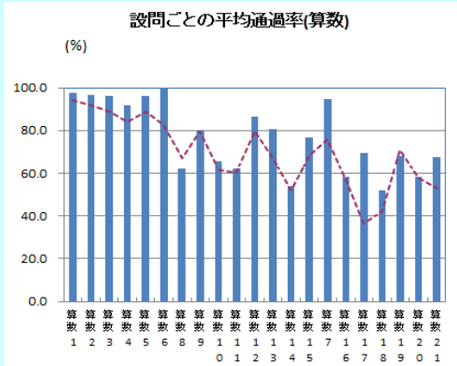
呉市立白岳小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校76. 8%, 県　69. 4%）

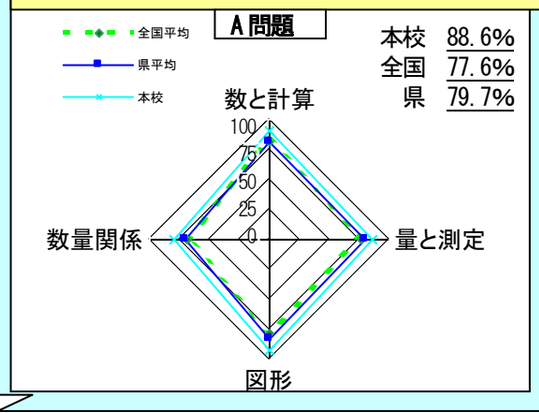
領域別平均通過率

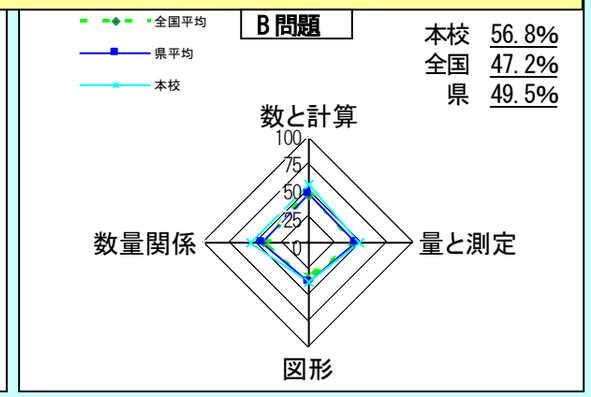


設問ごとの平均通過率



全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎①　ひし形の作図から，ひし形の特徴を選択する問題において，適切なひし形の性質を選択できない。（通過率 53.8%）

②　タイプⅡ「折れ線グラフと棒グラフの関連付け」において，グラフを関連付けてよみとれない。たくさんある情報の中から，必要となる情報を選択することができていない。（通過率 51.9%）

◇①　図形を構成する角の大きさをもとに，四角形を並べてできる形を判断する。（通過率 10.3%）

②　活用問題における記述式の問題で，数値の表す意味・式の意味について説明することに課題がある。（通過率 28.7%・10.3%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎①　いろいろな四角形をかく活動を仕組んでいく。その際，必ず図形の性質をおさえる。帯タイム等を活用し，活用問題に取り組ませ，筋道を立てて考えさせたり，根拠を挙げ，表現させたりする指導を繰り返し行う。

②　各教科において，さまざまなグラフを読みとる経験を積ませていく。その際，グラフについて系統的な指導を行う。また，根拠を挙げて説明する活動を授業の中に設定していく。

◇①　図形を操作したり，示された図や形に線を書き込ませたりして，具体的な角の大きさをつかませるようにする。

②　授業中，数値が表している意味について言葉で説明したり，算数用語を使ってまとめや振り返りを書かせたりする。

※　小中一貫した取組については，問題文をよく読み，読み取った情報から課題解決に必要な情報を，図や表に表して考えさせる。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	５年生 １学期まとめのテスト				１～６年生 学力テスト	４年生 Ｈ２８基礎基本	１～６年生 学年末テスト
目標値	８５％				８０％	７５％	８０％
実施後数値							

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法				１～６年生 学期末テスト	１～６年生 学力テスト	５年生 Ｈ２８全国学力 Ａ問題	１～６年生 学年末テスト
目標値				８０％	８０％	７０％	８０％
実施後数値							

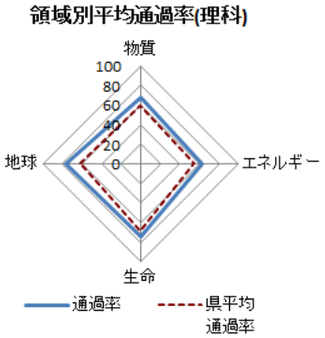
来年度に向けて

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

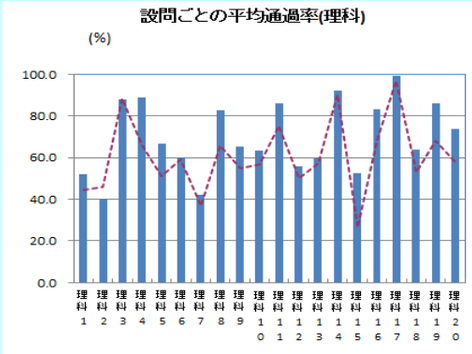
呉市立白岳小学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校70．1%，県60．6%）

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①　２つの物質の重さをそろえて体積を比べた結果をもとに，体積をそろえた場合，２つの物質の重さの大小はどうなるか推測することができにくい。（通過率 40.4%）

◎②　１つ１つの物質について（電気を通す・通さない，磁石に付く・付かない）は理解できているが，いくつかの条件のもと，それらをかかわらせて考えることができにくい。あるいは，複数の条件が重なると混同してしまい活用できない。（通過率 42.3%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎①　同じ重さでも体積が違う。同じ体積でも重さが違う。重さを比べるときは体積をそろえて比べるということを，実験を通して実感させ正しく理解させる。２つの事象を比較する場合，変える条件，変えない条件は何であるのかを意識しながら実験計画を立てさせるようにする。

◎②　実験キッドを使うのではなく，基本の理解から自分でおもちゃづくりにつながっていくようにする。

◎①②　実験する前に，何と何を比べるのか，何を調べる実験なのかなど目的意識をはっきりさせてから実験計画を立てるようにする。また，予想を立てさせ，その根拠や理由を説明させながら見通しをもたせて実験するようにする。

◎①②　科学的変化や事象を，原因と結果をつなげて説明させるなど言語活動を充実させていく。

◎①②　パワーアップ問題などで長文の問題を読んで答える場を取り入れ，一問一答ではない問題に慣れさせる。

※　小中一貫した取組については，目的を持って観察実験に取り組ませるとともに，予想や結果をまとめたり，考察をしたりするときにペアやグループで話し合わせ，理科的用語を使って自分の考えを表現する力を育てる。

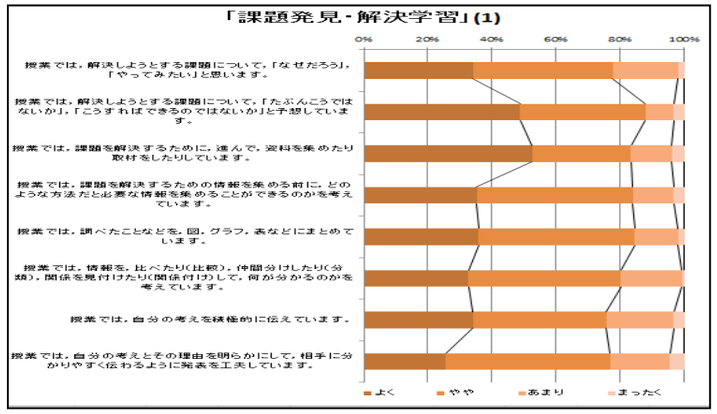
◎「基礎・基本」①	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		４～５年 H28 基礎・基本類似問題			５年 H28 基礎基本同問題実施		３年学年末テスト
目標値		４年 70%5 年 80%			８０%		８０%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		４～５年 H28 基礎・基本類似問題		３年学期末テスト	５年 H28 基礎基本同問題実施		３～４年学年末テスト
目標値		４年 70%5 年 80%		８０%	８０%		８０%
実施後数値							

来年度に向けて

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

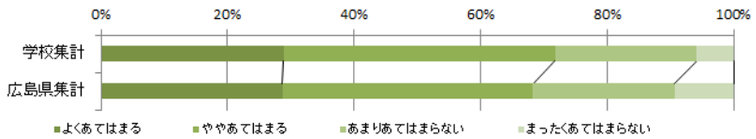
（１）生活・学習



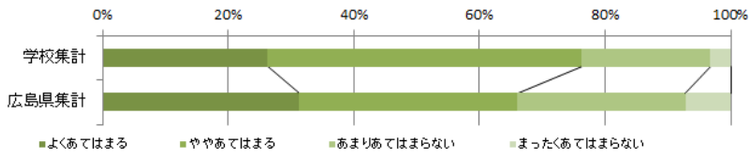
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	◎（１３）　課題設定 授業では，解決しようとする課題について，「なぜだろう」「やってみたい」と思います。（７７．６%）	◎　様々な教科や総合的な学習の時間において，課題発見・解決型の授業を仕組み，児童が主体的に学ぶことができるようにする。	５	８０%	児童アンケート調査	２月		
全国	◇（３４）今住んでいる地域への行事に参加していますか。（４０．９%）県の結果よりも３０%低い結果になっている。	◇　地域の行事について紹介をしたり，参加をした子供達の声を紹介したりして参加を呼びかける。	６	６０%	児童アンケート調査	２月		

（２）教科

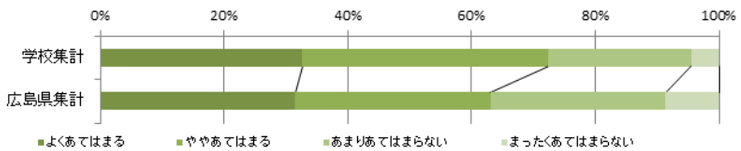
国語の勉強は好きです。



算数の授業では，とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



		児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	◎（１２）国語の勉強は好きです。（７１．７%）	◎　実生活につながる「単元全体の課題となる言語活動」を設定した課題解決学習の単元を学期に１回は設定し，しっかり教え，自分の力で活用する場面を設定する。	５	７５%	児童アンケート調査	２月		
	全国	◇（５７）４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思いますか。（５９．１%）	◇　国語だけではなく，他教科でも書く機会を増やし評価していくことで，書くことへの抵抗をなくしていく。	６	７０%	児童アンケート調査	２月		
算数	基礎・基本	◎（２１）算数の授業では，とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。（７６．３%）	◎　自分の考えを書く時間を確保し，それをもとに，ペアトークやグループトークを行い，自分の考えを伝え合う機会を増やすとともに，評価する。	５	８０%	児童アンケート調査	２月		
	全国	◇（７４）算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか。（７３．７%）	◇　算数科で新しい問題に挑戦させ，出来る経験を増やしていくことで自信をもたせるようにする。	６	８０%	児童アンケート調査	２月		
理科	基礎・基本	◎（３０）理科の授業では，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。（７２．４%）	◎　考えを表す言葉や理科的用語などを具体的に提示し，それを使って自分でまとめる時間を確保し，それをもとに説明していく機会を増やすとともに，評価する。	５	８０%	児童アンケート調査	２月		